

食育だより1月



練馬区立豊玉第二中学校

新年あけましておめでとうございます。

今年も安全で安心・おいしい給食づくりに、給食室一同頑張りたいと思います。1月24日から1月30日までは「全国学校給食週間」です。豊二中ではこの時期に毎年、昔の給食を再現した「おにぎり」献立や練馬のたくわん漬けを使った献立を実施しています。学校給食は教育の一環として行われています。子供たちが将来にわたり健康で心豊かな食生活を送れるように献立の工夫をしていきたいと思っています。

全国学校給食週間にちなんで

24~
30日

1796年ドイツのミュンヘンで、貧しい家の子どもの救済と就学の奨励のために給食を実施したのが世界で一番はじめての学校給食といわれています。やがて、1849年パリ、1855年ニューヨーク、1864年ロンドン、1887年ジュネーブ…と世界各地ではじまりました。そして、1889(明治22)年10月山形県鶴岡市私立忠愛小学校(大誓寺内)で弁当を持って来られない児童のために「おにぎりと焼き魚・漬物」の給食を用意したのが日本の学校給食のはじまりです。



やがてからだの弱い子や学校に来られない児童救済のために全国各地で給食が実施されるようになりましたが、戦争が激しくなると給食は中断されました。

第2次世界大戦後、食糧事情は大変ひどく、栄養不足の子どもを救うため各国からの援助をもとに給食が再開されました(1946年12月24日)。この援助はユニセフを通じて1964(昭和39)年まで続けられました。

そして今、日本は大変豊かな国になりました。お金さえ出せば何でもいつでも手に入ります。そのため栄養に気をつけ、好き嫌いなどを減らし、健康なからだになろうということより、「簡単」で「食べものもおしゃれでカッコイイものに」という人も増えているようです。

食べることは、わたしたちの心とからだに力をわきたたせる源です。毎日何気なく食べている給食ですが、その陰には多くの人の働きや力があること、そして食べることの大切さを考えるきっかけになればと思っています。